

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ 視察資料

小田原市文化政策課

○行政規模の比較

	小田原市 (A)	富士見市 (B)	(A) ÷ (B)
人口 (7月1日現在)	198,429 人	107,665 人	1.84
世帯数 (7月1日現在)	78,457 世帯	45,831 世帯	1.71
一般会計予算 (当初)	57,500,000 千円	29,658,810 千円	1.93

○富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ

開館：平成14年11月1日

所在地：埼玉県富士見市大字鶴馬1803番地1

T E L : 049-268-7788

○交 通

- ・池袋から東武東上線準急で29分 鶴瀬駅東口下車 鶴瀬駅東口よりタクシー8分
- ・駐車場198台

○施設構成 (詳細は別紙をご覧ください。)

- ・メインホール 802席 (1階628席、2階174席)
- ・マルチホール 255席 (移動客席189席、置き椅子66席)
- ・スタジオA : 72.0 m² / B 17.0 m² / C 17.0 m² / D 42.0 m²
- ・展示・会議室 : 175.0 m²
- ・展示室 : 50.0 m²
- ・アトリエ : 44.0 m²
- ・市民ラウンジ / 情報交流コーナー
- ・託児室
- ・事務室

○建 築

設計：(株) A & T 建築研究所 / 劇場技術：A.T.Network / 建築音響：(株) 永田音響設計

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 地下1階・地上3階建

敷地面積：19,938.50 m²

建物面積 (延床面積)：7,358.58 m²・・・A

建築費 4,218,544,050 円・・・B (B ÷ A = 573,282 円)

(建築工事内訳)

工事区分	契約金額 (円)	工事区分	契約金額 (円)
建築工事	2,298,313,500	外構電気設備	34,230,000
建築付帯工事	16,485,000	外構機械設備	36,225,000
カーテン・ブラインド工事	4,630,500	外構工事	137,319,000
サイン工事	12,831,000	植栽工事	40,845,000
電気工事	198,299,850	太陽光発電設備	41,790,000
機械設備	607,240,200	映像システム関連工事	77,700,000
機械設備付帯工事	11,865,000	緞帳工事	33,495,000
舞台機構	255,150,000	舞台付帯工事	26,302,500
舞台照明	189,000,000	舞台音響設備電源工事	1,942,500
舞台音響	92,400,000	仮設前舞台工事	2,205,000
水の広場築造	100,275,000	合計	4,218,544,050

○開館までの取り組み

平成9年5月	建設検討委員会発足（基本構想検討）
平成10年4月	建設検討委員会の報告
平成10年5月	基本構想の決定
平成10年10月	基本計画の決定
平成11年3月	コンペ実施による設計者の決定
平成11年4月13日～22日	審査結果の公表と展示
平成11年5月22日	基本計画及びコンペ案の説明会
平成11年10月	基本設計の完成
平成11年12月	基本設計の説明会
平成12年3月	実施設計の完成
平成12年5月	運営検討委員会の発足
平成12年6月	建設工事着工
平成12年10月	屋外展示ギャラリー設置
平成13年2月	運営検討委員会中間報告会
平成13年3月	運営検討委員会検討結果報告
平成13年5月	開館記念事業実行委員会発足
平成13年5月	愛称募集開始
平成13年6月	愛称「キラリ☆ふじみ」に決定
平成13年8月	緞帳コンペ実施による原画案の決定
平成13年12月	市民文化会館キラリ☆ふじみ条例制定
平成14年3月	キラリスト養成講座開始
平成14年5月	施設予約受付開始
平成14年7月	竣工・事務所移転
平成14年11月1日	市民文化会館オープン

○芸術監督／キラリンク☆カンパニー（詳細は別紙参照）

- ・芸術監督：（初代：平田オリザ氏、第2代：生田萬氏）現在：多田淳之介氏
- ・キラリンク☆カンパニー：東京デスロック／田上パル／モモンガ・コンプレックス

○市民文化会館Q&A

平成9年から検討し進めてきた市民文化会館キラリ☆ふじみ。この間、説明会などで多くの市民の方から質問や要望がありました。多くの質問の中から、いくつかご紹介します。(HPより)

	Q「富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ」とは？	<p>A</p> <p>キラリ☆ 輝きあう 一瞬のために富士見市の新しいシンボルとして</p> <p>キラリ☆ 個性が輝くように</p> <p>キラリ☆ 富士見ブランド文化が全国に輝くように</p> <p>キラリ☆ 水と緑と光の調和で輝くよう</p> <p>そんな願いがこめられて、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみは誕生しました。キラリ☆ふじみはわたしたちのステージ施設です。人がいればそこに文化が生まれ、文化が人を育てていく。そのような環境をつくることこそ、「ひとづくり」であり「まちづくり」であるなら、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみは、「市民の芸術劇場」として、高い水準の個性豊かな芸術文化を創造し提供していきます。</p>
(運営編)	Q採算の取れる文化会館として運営するの？	A 採算ベースといった考え方を持つことは必要だと考えています。しかし、単純にお金だけの収益だけではなく、多くの市民に使っていただき、たくさんの感動を持ってもらうことも収益だと考えています。
	Q利用料金や申し込みは？	<p>A 平成13年12月定例議会において、市民文化会館キラリ☆ふじみ条例が可決され、利用料金が決まりました。多くの方に気軽にご利用いただくための、多様な料金設定になっています。</p> <p>また、施設利用の受付開始は、メインホール、マルチホール、営業を伴わず展示を目的とした展示・会議室、展示室及びアトリエは1年前の月初めから20日前までです。また、その他の利用目的の展示・会議室、展示室、アトリエは半年前の月初めから3日前までになります。なお、スタジオにつきましては、3カ月前の月初めから当日までの利用を受け付けています。</p>
	Qインターネットで公演等見られるの？	A 舞台芸術等は、演技者等と観客が同じ空間の中にいることを大事にしています。お客さまもそれを望んで来場されと考えていますので、インターネット等での中継は現在考えていません。
(交通機関編)	Q駐車場はたくさんあるの？	A 隣接しているコミュニティパークや各施設との相互利用ができるよう198台の駐車場を確保しています。
	Q駅からのアクセスがないので、市内循環バス等の交通はどうなるの？	A 交通網の整備については、今後のまちづくりに合わせて検討します。
(メインホール編)	Qどうして802席なの？	A 全市民が文化に接し、日常的な文化に関わる市民主役の劇場として、音楽や演劇、舞踊など、さまざまな市民文化創造活動や舞台芸術鑑賞に対応できるものとしています。多様な演目に適し、よい環境となるように席数を決めました。

	Q天井が高い方が音響が良いと言われるが高さは？	A 音響は天井の高さではなく、一席あたりの空間量が関係あります。一般的な6~7立方メートルよりも多く8~8.5立方メートルとして、豊かな音響を実現できるよう考えています。
	Q親子室はあるの？	A 最近のホールでは託児室を作ったほうがよいという傾向があるので、親子室ではなくキッズルームを設置しています。
	Q国道のそばですが、振動や騒音は大丈夫？	A 現地調査をして設計しています。楽屋関係入口を二重扉にしたり、有料道路側にも植樹して対策を立てています。
(マルチホール編)	Qどういう使い方ができるのですか？	A 255席の客席数(移動収納型客席189席・置き椅子66席)の多目的ホールです。客席を収納しての平土間空間はパーティやレセプションにも活用できます。
(文化支援施設編)	Qアトリエってどんな部屋なのですか？	A 水の広場に張り出したキラリ☆ふじみのシンボリックな明るい施設です。画架(イーゼル)やろくろ・七宝焼き窯等も用意しています。美術工芸の創作活動に利用できます。
(施設全般編)	Q倉庫はどうなっているの？	A メインホールには舞台備品庫や照明機材庫を、サブホールには、文化支援施設共用で大き目の備品庫及び楽器庫を用意しています。文化支援施設には、各部屋それぞれに備品庫を用意しています。
	Q環境にやさしい配慮は？	A 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)との共同研究により、舞台屋根には出力30kWの太陽光発電装置を設置しました。また、トイレ洗浄水への雨水の利用、ホール客席の、座席空調など省エネと快適さを併せ持った施設となっています。
	Q映像文化に対する配慮は？	A プロジェクター等を設置しています。
	Q女子トイレの数はしっかり確保しているの？	A 興行場法で定める数よりも多く確保しています。
	Q廊下の幅はどれくらい？休むところはあるの？	A 廊下は2.5mあり、窓側に面してベンチを設置しています。また、水の広場のウッドデッキスペースにはテーブルとイスを設置しており、ご自由に利用いただけます。
	Q市民が雑談できるスペースは？	A 市民ラウンジや情報コーナー等を設けています。
	Qラグーンって何？	A 土や砂利などを使った小さな自然型の池です。